

今週（7月6日から7月10日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み期間終盤に入ったことで取り手の資金調達意欲が強く、無担保コールレートは上昇した。これまでの主要な取り手であった大手行・信託銀行に加え、今週に入ってから地銀の積極的な資金調達が目立っていた。

無担保コールO/N物は、前週末と同レベルでの取引で始まった。積み期間後半に入ってから地銀業態の資金調達量が増加しており、今週に入ってからレート面でも積極的な動きが見られた。その影響からレートは上昇しており、7～9日は全体的に▲0.02%台での出会いとなった。10日は週末3日積みで資金調達意欲が強まったため、▲0.015%中心の出会いが見られた。日銀当座預金残高は、短国の発行超過要因が多く見られたものの、短国買入オペや米ドル供給用国債売現先の期日などで徐々に増加し、440兆円台前半から440兆円台後半へと増加した。ターム物に関しては、地銀業態を中心にオファーが並んでおり、1W～1M物で▲0.055～▲0.03%での出会いが散発的に見られた。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは10日に2W物・20,000億円がオファーされ、1,890億円（期落ち額1,900億円）と札割れとなった。その他、同日には、新型コロナ対応金融支援オペが6M物でオファーされ、23,333億円の貸付が行われた（期落ち額5,628億円）。同オペの残高は13日時点で226,057億円となる見込み。

●レポ市場

今週のGC T/Nは、▲0.090～▲0.055%程度のレンジで推移した。週初6日のGC T/Nは、▲0.075～▲0.060%程度の出会い。短国買入オペが実施された7日のT/Nは▲0.090～▲0.075%程度まで低下し、8日のT/Nも横ばいで推移した。短国6M物と利付5Y物の発行が重なった9日のT/Nも、資金運用サイドのニーズがしっかりしていたことから、前日から横ばい圏内でのレート推移となった。短国3M発行日の取引となる10日のT/Nは、▲0.075%～▲0.055%程度までレートを上げて出合う展開となった。

SCは、個別銘柄では2y407～414、5y139～144、10y338～358、20y169～172、30y59～66、40y11～13等カレント近辺の銘柄に引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3M物においては、発行量の多さから需給が悪化しているものの、店頭見合いの買いが入ったことから▲0.115～▲0.103%出会いと、やや堅調に推移した。一方で、1Y物や6M物においては、一部の銘柄が今週もオペの対象外とされたことを受けてか、6M物が▲0.190～▲0.155%、1Y物が▲0.218～▲0.140%での出会いと、軟調に推移した。

7日に実施された短国買入オペは、前回から5,000億円減額の25,000億円がオファーされた。平均落札利回較差+0.014%、按分落札利回較差+0.010%と、しっかりした結果となった。

9日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.170～▲0.155%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1764%、按分落札利回▲0.1725%としっかりした結果となった。短国買入オペの動向が不透明であるものの、12月末越えとなることから、まとまった買いが見られた。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.190～▲0.178%出会いと堅調に推移した。

10日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.100～▲0.095%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.0922%、按分落札利回▲0.0862%と、やや弱めの結果となった。償還日が海外の休日にあたること、発行量の多さから需給が悪化していることなどの要因から、前回の結果から上昇した。結果発表後のセカンダリーマーケットにおいては、入札と同水準で推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、商社や鉄鋼業態で大型の発行が見られたほか、不動産や食料品業態でもまとまった額の発行が見られ、償還総額4,500億円程度に対して、発行総額6,400億円程度と発行超のマーケットとなった。また、新型コロナウイルスの第2波に対する警戒感からか、引き続き長い期間の発行を行う発行体が見られた。市場発行残高は期明けから着実に伸長しており、今週末には24兆円台後半に達するなど、引き続き高水準で推移している。発行レートについては、CP等買入オペや新型コロナオペ等を背景に、対象となる銘柄については大半が僅かなマイナス圏～0%と低位で推移している。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
7/6（月）	22,714.44	0.040	107.64	△ 0.034	△ 0.068	4,429,600
7/7（火）	22,614.69	0.033	107.32	△ 0.027	△ 0.086	4,441,400
7/8（水）	22,438.65	0.015	107.67	△ 0.023	△ 0.087	4,457,700
7/9（木）	22,529.29	0.015	107.28	△ 0.021	△ 0.080	4,473,800
7/10（金）	22,290.81	0.015	106.95	△ 0.017	△ 0.072	4,463,500

## 来週（7月13日から7月17日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
7/13 (月)	5月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)			6月の米財政収支
7/14 (火)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~)	流動性供給 5,000億円 7/15発行	交付税借入 10,000億円 7/27借入	6月の米消費者物価指数
7/15 (水)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望 5月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)			米ページブック 6月の米鉱工業生産・設備稼働率 6月の英消費者物価指数
7/16 (木)		TB1Y 35,000億円 7/20発行	流動性供給 4,000億円 7/17発行	ECB定例理事会(金融政策発表) 6月の米小売売上高 5月の米企業在庫
7/17 (金)		TB3M 76,400億円 7/20発行	交付税借入 10,000億円 7/29借入	6月の米住宅着工件数 7月のミシガン大消費者信頼感指数速報 6月のユーロ圏消費者物価指数改定値

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/13 (月)	500	▲ 19,000	▲ 18,500	国債買入 全店共通 CP買入 新型コロナ支援		8,800 1,900 300 23,300	26,200	7,700	TB3M発行▲76400償還48000
7/14 (火)	0	▲ 23,000	▲ 23,000				0	▲ 23,000	源泉所得税(賞与分) 労働保険 社会保障費
7/15 (水)	0	▲ 12,000	▲ 12,000				0	▲ 12,000	流動性供給▲6000 個人向け3・5・10Y発行▲1100
7/16 (木)	0	3,000	3,000				0	3,000	
7/17 (金)	▲ 1,000	▲ 2,000	▲ 3,000	国債売現先(米ドル) 被災地支援	23,200 ▲ 1,100		22,100	19,100	流動性供給▲4000 交付税借入▲11000期日10500
週間合計	▲ 500	▲ 53,000	▲ 53,500	—	14,300	34,000	48,300	▲ 5,200	

7/13は日銀予想、7/14以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、無担保コールO/Nは、今積み期間の最終日である15日までは高止まりの展開が予想される。16日からは新積み期間入りとなる。各種オペ要因で当座預金残高が大幅に増加する中、基準比率が31.5%（前期間28.5%）に引き上げられており、業態ごとの動向が注目される。レボ市場は、GC T/Nは▲0.090～▲0.050%程度での推移を予想する。短国市場は、16日に1Y物、17日に3M物の入札が実施予定となっている。短国の需給悪化が懸念される中、レート水準を含め、市場動向が注目される。また、14日の実施が見込まれる短国買入オペのオフアー額も注目される。CP市場は、17日にCP等買入オペが6,000億円で実施予定となっている。市場残高が高水準で推移する中、一定の売却ニーズはありと見られ、按分レートがどの程度で決着するのか注目される。

主要なイベントとしては、国内では14～15日に金融政策決定会合、海外では14日に6月の米消費者物価指数、15日にページブック、6月の英消費者物価指数、16日にECB定例理事会が公表される予定となっている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。